

第7次長泉町地域福祉計画  
第6次長泉町地域福祉活動計画

基本理念 いきいきと暮らしを支える 優しい ながいずみ

施策の方向1：ひとりひとり  
福祉の心を育てる

- 基本施策
- 1) 地域共生の意識を深める取り組みの推進
  - 2) 福祉を担う人材の発掘・育成
  - 3) 福祉に関する情報提供の充実

施策の方向2：地域  
ともに支え合う地域づくり

- 1) とり近所で支え合う体制づくりの推進
- 2) 地域福祉活動・ボランティア活動の活性化
- 3) 住民同士の連携による地域福祉の推進
- 4) 地域における交流・居場所づくりの推進

施策の方向3：関係機関・体制  
暮らしを支える包括的な体制づくり

- 1) 多様化する生活状況に対する支援の充実
- 2) 総合的な相談体制の充実
- 3) 地域福祉を推進する社会福祉協議会の機能強化
- 4) より良質な福祉サービス提供の推進
- 5) 権利擁護の推進

施策の方向4：環境  
安心・安全な環境整備

- 1) ユニバーサルデザイン・バリアフリー化の推進
- 2) 防災・減災、感染症対策の推進
- 3) 防犯対策の推進

施策の方向 基本施策		令和5年度事業報告 (令和5年度事業報告より抜粋)	令和5年度事業評価
1	福祉教育実践校事業	町内5小中学校：35回（手話、車椅子体験他）、知徳高校：59回	目標の達成に向けて計画どおり進んでいる
	福祉健康まつりの開催	令和5年10月15日に開催、参加団体55団体、来場者約1,500人	
	ボランティア養成講座の開催	養成講座：34人参加（2日）、基礎講座：20人参加（1日） 傾聴講座：43人参加（1日）、外出サポーター養成講座：19人参加（1日）	
2	町内社会福祉法人連携	連絡会等：14回開催、北中学校キャリア教育（人材確保）：186人参加	☞町内社会福祉法人と連携し福祉教育実践校事業として、キャリア教育を行うことができている ☞社協の認知度を高め、必要とされる組織づくりに取り組んでいる
	ホームページ等運営事業	ホームページ、SNSを開設し、各種情報を発信することで福祉に対する理解を深める	
3	視覚障がい者情報提供事業	ボランティアの協力による声の広報発行 広報ながいずみ20回、議会だより4回、社協だより5回	☞SNSアカウントを創設し、ホームページと併せて福祉情報の発信に努めた
	社協だよりの発行	年5回 各号17,480部発行、読者アンケートの実施	
1	小地域福祉活動推進事業	地域の福祉課題の発見や解決を主体的に行う21区への支援	目標の達成に向けて計画どおり進んでいる
	ボランティア団体支援	長泉町ボランティア連絡会加入団体：25団体（472人） 情報提供：社協だより、社協ホームページ、相談：19件 保険加入：7個人、9団体（延べ178人）、施設利用料減免	
	民生委員との連携 福祉団体への支援	民生委員・児童委員との情報共有、定例会等への参加 9団体への運営費助成、3団体事務局支援	
	高齢者交流会 共同募金助成事業	【新規】ひとり暮らし交流会：75人（10回）、高齢者交流会：29人（2回） 【新規】福祉育成援助活動費：15事業（4,126千円助成） 災害緊急助成：499千円、市町社協機器整備（車両購入）：1,852千円	
2	歳末たすけあい見舞金事業	見舞金、助成金：116人（1,890千円助成）	☞コロナ禍前に実施していた仲良し会に代わる事業として、ひとり暮らし高齢者等の交流事業を実施 ☞支給要綱を制定することで、共同募金助成事業、歳末たすけあい助成事業の見直しを行った ☞北小校区で新たなサービスとして移動支援（買い物支援）がモデル的に立ち上がり、また長小校区で同行支援が検討されるなど、地域の課題を地域で解決する活動を生活支援体制整備事業として進められた
	生活支援体制整備事業	第1層協議会：5回開催、第2層協議会：29回参加 勉強会：40人参加（3回）、講座：74人参加（5回）、研修会：15人参加（1回）	
	子どもの居場所づくり	講座：61人参加（14回（打合せを含む））、2団体運営支援	
1	福祉総合相談事業	相談件数：21件（来所7件、電話14件）	目標の達成に向けて計画どおり進んでいる
	日常生活自立支援事業	利用者：15人（高齢者5人、知的3人、精神2人、他5人） 相談件数：539件（高齢者148件、知的136件、精神18件、他237件）	
	生活困窮者自立支援法に基づく事業	日常生活自立支援事業：相談539件、生活困窮者自立相談支援事業：相談755件 家計改善支援事業：6件、一時生活支援事業：1件（7泊） 住居確保給付金：2件 フードドライブ事業への協力（夏季、冬季）	
	生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付：3件	
	重層的支援体制整備事業	参加支援3件、引きこもり実態調査	
	福祉総合相談事業	再掲	
	地域共生社会推進委員会 会員拡充と基本財源確保	【新規】地域住民等の意思を事業に反映させるため委員会を設置し3回開催 普通会費：12,258口（3,677千円）特別会員：254口（254千円）	
	車椅子貸出事業	有料貸出：61件、無料貸出（教材、選挙）：12件	
	手話通訳者派遣事業	派遣：170件（470時間）、養成講座：14人受講（23回）、手話教室：47人参加（2日）	
	施設管理	福祉会館：開館310日、利用者49,644人 在宅福祉総合センター：開所307日、利用者6,223	
2	市民後見推進事業	相談会・公開講座：相談15件、講座参加63人、フォローアップ研修：2人	☞重層的相談体制整備事業の中での社協としての役割強化に努めるものとし、静岡県から受託として引きこもり実態調査を実施 ☞地域共生社会推進委員会を新たに設置し、外部委員等による事業の評価、検証を行う中で地域住民の意見の反映に努めている ☞介護事業者に対しBCPの策定が義務付けられたことに合わせ、法人として自然災害発生時等の緊急時における基本方針を定めたBCPを策定した ☞町貸館システムの変更に伴い利便性向上による利用環境の整備に努めた ☞成年後見制度の利用増に伴う人材の育成及び支援体制の整備に努めた
	法人後見事業	受任件数：後見3件、保佐4件、補助4件	
4	災害ボランティアセンター	立上げ訓練：76人参加（2回） 運営研修：62人参加（1回）	目標の達成に向けて計画どおり進んでいる
	協定締結	長泉町：災害ボラセン設置・運営、長泉町商工会：ボランティア活動支援	
	出前講座	71人参加（3回）	
	養成講座	ふじのくに災害ボランティアコーディネーター養成講座：11人参加（1回）	
	県内災害ボラセン運営支援	沼津市災害ボランティアセンターへの派遣：1人（3日）	
3	能登半島地震への支援	北中生徒による街頭募金：23人参加（1日）	☞災害ボランティアセンターを広く住民に知ってもらうため、出前講座等を開催した ☞長泉町及び町商工会との間で災害に関する協定を締結し、災害時の体制を整えた ☞防災倉庫の整備（ながいずみ一事業、共同募金事業）
	新入学児童祝品贈呈事業	小学校新入学児童への黄色い帽子贈呈	

評価

- S 目標を大きく達成している。又は目標の達成に向けて計画以上に進んでいる
- A 目標を達成している。又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる
- B 目標を達成していない。又は目標の達成に向けた進捗が少し遅れているが、計画最終年度には目標を達成する見込みである
- C 目標を大きく下回っている。又は目標の達成に向けた進捗が遅れており、取組みの強化が必要である